

社会科シラバス 高校3年

1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 地理探究 α	2 単位	第3 学年 (自由選択)	・ 帝国書院 新地理総合 ・ 帝国書院 高等学校地図帳 ・ 第一学習社 GEO(図録) (帝国書院 新詳 地理探究) ・ 数研出版 チェック&演習 地理
学習の到達目標	①世界に対する知見の幅を広げる(Global) 現在置かれている周囲だけでなく自分と異なる環境に対する理解を深める。地球規模で起こる課題や環境問題に目を向け、自分とどう関連するかを考える。「寛容と共生」「地球感覚」に基づいた、国際理解と教養のある「大人」になる。 ②地図を活かした情報を適切に読み取り、表現の方法を理解し、使いこなす(Science) 将来を担っていく上で、場所によって特性が異なることは当たり前である。各地域の差をしっかりと理解し、表現できるようにする読解力、表現力を養う。 ③災害に対する正しい理解を得て、その向きあいかたを考える(Liberal arts) 日本で生活するうえでは、災害と向き合っていく必要があり、その種類や成因を知り、正しい向き合い方や備えを行うことで、正しい対策をできるようにする。		
評価の観点	<主体性・多様性・協働性>		出欠席及び授業での課題への取り組みなど
	<思考力・判断力・表現力>		筆記試験での論述及び授業内でのワーク
	<知識・技能>		筆記試験

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

- A : 「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・100%
- B : 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・80%
- C : 「努力を要する」状況と判断されるもの・・・60%
- D : 未提出、未実施・・・0%

2.学習内容及び評価方法

時期	単元	学習のねらい・到達目標
1 学期 中間 まで	系統地理 工業編 系統地理 都市・村落	資源・エネルギーの流通の仕組みや工業立地論などを科学的に考え、なぜその場所に産業が立地するのかを理解する。
1 学期 期末 まで	アジア地誌	アジア地域における各地の産業や自然環境を理解する。
2 学期 中間 まで	ヨーロッパ地誌 アングロアメリカ地誌	各地域における各地の産業や自然環境を理解する。
2 学期 期末 まで	ラテンアメリカ地誌 旧ソ連周辺地誌 アフリカ地誌 オセアニア・太平洋地誌	各地域における各地の産業や自然環境を理解する。
評価の観点及び内容		評価方法（具体例）
＜主体性・多様性・協働性＞		出欠席及び授業での課題への取り組みなど
＜思考力・判断力・表現力＞		筆記試験(授業内実施)での論述及び授業内でのワーク
＜知識・技能＞		筆記試験(授業内実施)